2020 年度言語情報科学専攻入試説明会 Q & A

(1) 修士課程入学試験・博士後期課程入学試験に共通の項目
(2) 修士課程入学試験に関する項目
(3) 博士後期課程入学試験に関する項目

(1) 修士課程入学試験・博士後期課程入学試験に共通の項目

Q. 【修士入試・博士入試】他大学ですでに修士学位を取得済みですが、修士課程を受験すること、修士課程、博士後期課程の併願は可能ですか。
A. 可能です。

Q. 【修士・博士入試】留学生が 9 月から入学することは可能ですか。
A. できません。

Q. 【修士入試・博士入試】修士課程、博士後期課程の併願はどちらかが選考に不利になるのですか。
A. 入試は独立して行うため、そのようなことはありません。

Q. 【修士入試・博士入試】日本語ではなく外国語で書いた論文提出は可能ですか。
A. 可能です。

Q. 【修士・博士入試】研究計画書などの書式は、定まったものがありますか。
A. 定まったものは特にありません。

Q. 【修士入試・博士入試】研究業績に論文以外のものを記載し、出願書類として提出してもいいのでしょうか。
A. 可能です。

Q. 【修士入試・博士入試】研究業績として、紙媒体以外のもの（音声、映像等）を補足資料で提出することは可能ですか。
A. 必要ならば可能です。

Q. 【修士入試・博士入試】自分がこれまで行ってきた研究が一貫性のないように見えますが、どのように記載、提出したらよいでしょうか。
A. 今後の研究テーマと結びつけてわかりやすい形で記載、提出してください。

Q. 【修士入試・博士入試】願書に専門と関わりのあるアルバイト歴を記載してもいいのでしょうか。
A. 可能です。

Q. 【修士入試・博士入試】すでに本専攻で修士学位を取得済みですが、社会人で出願すべきでしょうか、一般で出願すべきでしょうか。
A. 個人の判断によります。

Q. 【修士入試・博士入試】社会人として出願する場合、雇用形態に制限はありますか。
A. 常勤、非常勤等の形態は問いません。

Q. 【修士入試・博士入試】社会人入学を希望する場合、所属機関の長や上司からの許可証はいつ提出すべきですか。
A. 入学後に提出の必要があります。

Q. 【修士入試・博士入試】入学金の免除、半額免除はありますか。
A. 入学金、授業料関係は教務課大学院チームへ問い合わせてください。

(2) 修士課程入学試験に関する項目

Q. 【修士入試】第 1 次試験で提出する「卒業論文（又はそれに準ずる研究論文）の概要」の字数に文献一覧も入りますか。
A. 文献一覧も字数に数えます。

Q. 【修士入試】第 2 次試験に提出する「論文」は卒業論文とは違うものなのでしょうか。。
A. 一般出願者、社会人特別選抜出願者、外国人出願者のいずれも「提出課題」中の「論文」は第 1 次試験で「概要」を提出した「論文」（卒業論文又はそれに準ずる研究論文）本体を指します。

Q. 【修士入試】過去の大学院総合文化研究科入学試験問題は入手できますか。
A. 東京大学消費生活協同組合（東大生協）で通信販売をしていますのでサイトをご覧ください（http://www.utcoop-netshop.jp/243.html）。ただし今年度は一次試験が書類選考ですのでその点はご留意ください。

Q. 【修士入試】現在社会人ですが、一般出願者として出願はできますか。
A. 可能です。

Q. 【修士入試】すでに修士学位を取得済みですが、再度修士課程に出願する場合、成績証明書は学部だけでなく修士課程のものも送付すべきでしょうか。
A. 修士課程への受験を考えている場合は、学部のもののみで可能です。

Q. 【修士入試】東京大学の他専攻との併願は可能ですか。
A. 総合文化研究科は不可ですが、他の研究科は日程が合えば可能です（日程については各自確認してください)。

Q. 【修士入試】第 1 次試験（筆記試験）の通過者の人数は公表していますか。
A. 公表していません。

Q. 【修士入試】一般出願者の提出書類について。論文の要旨は必ず日本語で書かねばならないのですか（論文が外国語であっても要旨は日本語ですか)。
A. 必ず日本語で書いてください。

Q. 【修士入試】研究計画書に記載する大学院入学後の研究テーマと、提出論文の内容とが異なっていてもよいのですか。
A. 提出論文では出願者の能力を総合的な観点から判断します。入学後の研究テーマと乖離があっても、審査で直ちに不利になるわけではありません。

Q. 【修士入試】外国人出願者の提出書類で、募集要項「2『論文』」に「広義の言語現象に関して作成した論文」とありますが、「広義」とはどのような範囲と考えればよいのでしょうか。
A. 本専攻のメンバーはさまざまな言語現象を研究対象としています。一般出願者の提出書類の「文学、言語学、記号論、言語哲学、言語教育、コミュニケーション論、言語情報処理等、広義の言語現象に関して作成した論文」という記述を参考にしてください。

Q. 【修士入試】「人間の安全保障」プログラムに入りたいのですが、必修科目と論文指導について教えてください。
A. 必修科目は、「人間の安全保障」プログラムで指定されている必修科目を取ります。言語情報の必修科目は取る必要はありません。「人間の安全保障」プログラムに所属している教員が指導教員になります。

Q. 【修士入試】修士課程の選考で不合格になった場合、研究生に出願可能ですか。
A. それぞれの出願時期が異なるので、教務課で日程を確認してください。

Q. 【修士入試】願書記入時に記載すべき外国語水準はどの程度のものですか。
A. 入学後に研究に利用できると考えられるものを記載してください。

Q. 【修士入試】日本の大学学部を卒業予定の外国人です。一般で出願することになりますが、母語を選択外国語として出願することは可能ですか。
A. 可能です。

Q. 【修士入試】外国人出願者は外国語で英語を選択しなくてもよいのでしょうか。
A. 英語以外の言語を選択することも可能です。

Q. 【修士入試】TOEFL のスコアで英語の試験は免除されますか。
A. 免除されません。

Q. 【修士入試】日本語を母語にしていても日本古典を選択外国語として選択可能ですか。
A. 問題ありません。

(3) 博士後期課程入学試験に関する項目

Q. 【博士入試】博士後期課程受験時に外国語の試験はありますか。
A. 場合によります。審査担当者が論文や今後の研究計画等を参考にして、総合的に判断します。

Q. 【博士入試】博士後期課程受験時に修士論文またはそれに代わるものを提出すると記載されていますが、修士論文の修正版でも可能ですか。
A. 可能です。ただし入学後の研究との関連性を説明できることが望ましいでしょう。

Q. 【博士入試】社会人特別選抜出願者は一般出願者と異なり、研究計画書の提出が要求されていませんが、これは、「これまでの社会的活動と今後の計画」がいわゆる研究計画書の内容を含んでいるからでしょうか。
A. はい、そうです。